

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.27



※板碑とは、中世仏教で主に供養塔として使われる石碑の一種です。

くにさきの文化財

安岐町 「興國山護聖寺板碑」 県指定有形文化財

国東六郷満山霊場第15番札所「護聖寺」は、安岐町朝来にある曹洞宗の寺院です。六郷満山山中十カ寺であった当時は、般若経の講端所でした。その後再興し、曹洞宗を奉じ現在に至っています。寺の境内には数個の石造美術品が散在し、その中に板碑二基が含まれています。

この板碑2基は、大分県最古の板碑であり、一つは碑面に弥陀観音・勢至・三尊の種子(キリク・サ・サク仏を表す梵字)と西応4年(1291年)卯月二十七日孝子敬白の銘、他の一基も同じ種子と嘉歴4年(1329年)十二月九日の銘が記されています。



職員の不祥事に

しつこのお詫び

この度、職員の不適切な事務処理による公金着服の件につきまして、市民の皆様方に多大なるご迷惑、ご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

皆様方からお預かりした大切な公金の取り扱いに關しましては、誠にその責任の重さを職員一人ひとりが認識しておかなければなりません。

今後は二度とこのような問題を起ささないよう職員の意識改革を行い、再発防止に取り組むとともに、綱紀の粛正を図り、私を含め職員一丸となって市政の信頼回復に努めてまいります。

なお、管理監督者の処分につきましては、速やかに行う所存であります。

国東市長

野田侃生